

クリヤマ 「蓄光ステッカー」を開発 東京都港区と共同で

建設用製品などの製造、販売、施工を手掛けるクリヤマ(本社・大阪市中央区)が、東京都港区芝浦港南地区総合支所

JR田町駅東口駅前広場(東京都港区)のエスカレーターに設置された蓄光ステッカー



まちづくり課と共同で、新型コロナウイルス感染症防止と停電時に人々の安全を守る「蓄光ステッカー」を開発、製作した。

同社ではこれまで、日光や照明器具(LED、蛍光灯)などからエネルギーを吸収し、停電時に発光する高輝度蓄光式誘導標識・蓄光商品(ストックライト)を取り扱っており、これを応用し新型コロナウイルス感染症防止対策の一つである「ソーシャルディスタンスを保つ」ための蓄光ステッカーを製作。光エネルギーを蓄えると自ら発光するため電源が不要で、震災のブラックアウト対策として有効なだけでなく、消費電力やCO₂の削減による環境にも配慮する商品という。

同社は、「今後も地球環境保護や人々のニーズに対応する商品開発に注力していく」としている。